鳥取県家庭教育支援

ねっこりん通信

家庭はすべての教育の出発点と言われます。「ねっこりん」は鳥取県家庭教育応援キャラクターです。皆さんとともに応援し続けます。

令和８年３月１３日
発行：鳥取県教育委員会事務局
社会教育課
社会教育・地域学校協働推進担当
ＴＥＬ/0857-26-7520
ＦＡＸ/0857-26-8175

本年度も皆様には大変お世話になりました。皆様の御協力のおかげで、鳥取県の子育て・家庭教育の事業を本年度も無事に終えることができました。

さて、令和７年度は大阪・関西万博が開かれました。きっと多くの家族連れが、未来の技術や異文化に触れる貴重な体験をされたことでしょう。

近年、家庭教育をとりまく環境が大きな転換期を迎えています。核家族化の進行や地域のつながりの希薄化により子育ての悩みを抱え込む「孤立化」が問題になっています。また、共働き世帯の増加に伴う時間的余裕の不足やデジタル環境の普及による体験活動の減少、SNS 等を通じた情報過多による不安感を抱く保護者もいることと思います。

こうした課題に対し、「学校・家庭・地域」の連携がより一層重要視されています。多くの方がつながりながら「切れ目のない、きめ細やかな子育て・家庭教育支援」を進め、万博のような実体験の場を親子の学びに取り入れつつ、周囲がサポートできる環境を整えていくことができればと思います。さらに、「チームでの家庭教育」を進めていくことが子どもたちの健やかな成長と保護者の安心につながっていくことと思います。

本年度の子育て・家庭教育支援についてまとめてみましたので、御一読いただき、令和７年度を振り返っていただけたらと思います。

子育て･家庭教育支援関係者研修会（全2回）

＜第１回＞県の取組と現代課題の把握（７月３０日）

①県の家庭教育支援について（県社会教育課）

②子育て王国とっとりの取組（県子育て王国課）

・鳥取県では、地域や社会全体での子育ての機運を高める取組や子どもが社会全域で社会の一員として意見表明できる場を広げる取組を実施しています。

③「見守る親と育つ子ども～生成 AI の光と闇・闇バイトから子どもを守る」（県社会教育課）

・生成 AI は、強力な味方になり得るが、賢く使うことが大切で、最終判断は人間が行いましょう。闇バイトの危険性や SNS の適切な利用方法について、日常会話の中で伝える重要性です。大人が子どもたちに寄り添うことで闇バイトから守ることができます。

＜第２回＞地域人材を活かした子育て家庭教育支援の取組及び保護者との関わり方（９月２６日）

① 事例発表

流通株式会社　江原朋美　氏

・整理収納アドバイザーとして、「片付け」の視点から家庭を整え、未来を整えることの大切さを教えていただきました。

・仕組みと制度を整える行政、寄り添い伴走する専門家、両者をつなぐ教育の３つの柱がそろって初めて、家庭は安心できる居場所となります。

にょきにょきこうふの取組　坪倉八重美　氏

・江府町のめざす子ども像や学校教育目標の達成に向けて、「声かけ」と「共感」を大切にしながら、家庭訪問やイベント実施を行っています。

・親から見れば困ったこと、心配事であっても、「成長の過程」ととらえ、子どもの成長をチーム員で共有しています。

② 講義・演習

「子どもの可能性を広げる言葉～家庭教育におけるリフレーミングの力～」

臨床心理士　宮田知子　氏

・物事の捉え方を変え、別の視点から見る「リフレーミング」について、参加者同士で体験しました。

・リフレーミングを取り入れ、短所ではなく、長所としてとらえ、自己肯定感を育むことが大切です。

令和７年度「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテーター養成講座（第５期）兼ファシリテーターフォローアップ研修会

【８月２２日・１１月２８日】
〇講義・演習
「ワークショップによる家庭教育支援の意義」
「ファシリテーターの役割と進行」
「傾聴とカウンセリングマインドを生かしたファシリテーション」
講師：清國　祐二　氏
（大分大学大学院　教育学研究科　教授）

この事業の立ち上げから関わっていただいている清國先生に今年もお世話になり、５年ぶりにファシリテーターの養成講座を行いました。

８月には、家庭教育支援において「共感」がとても重要であることや、家庭教育支援とワークショップは親和性が高く、ファシリテーターが「親同士の学び合い」を援助することの大切さを学びました。

１１月には養成講座受講生が、ファシリテーションの実践を行いました。既にファシリテーターとしてご活躍の方からの温かな言葉かけを受け、緊張しながらも、清國先生から教わったことを生かして３０分の学び合いを進めていました。

人前で自信をもってファシリテーションを実践していくためには経験も必要ですが、しっかり準備をし、シミュレーションをすることで、不安な気持ちは取り除けますね。

社会教育課のＳＮＳは下のＱＲコードから見ることができるぞ！
要チェックじゃ！！

You tube　Instagram　Tik Tok　X

企業は家庭の応援団
とっとり家庭教育推進協力企業

令和８年２月末現在
１０４６社　と
協定を結んでいます。

【担当者より】

本年度も皆様には大変お世話になりました。
令和7年度は、「とっとり子育て親育ちプログラム」の第5期ファシリテーター養成講座を行い、新たに5名の仲間に加わっていただきました。5名の皆様からは、研修に真剣に臨み、積極的に先輩ファシリテーターさんに質問する姿が見られ、とても心強く思っています。年々変化していく社会・家庭の状況について、絶えず学び続け、情報をアップデートしていくとともに、昔から変わらない家庭教育の不易の部分も大切にしていくことの重要性を担当としても再確認しました。
令和8年になり、1月には大きな地震が起こったり、毎週のように積雪もありました。個人では対応できないような場面に出くわしたときこそ、日頃の地域でのつながりがどれだけ大切なのかを身に染みるほど感じます。そして、同時に私自身は自分の住む地域においてどれだけ貢献できているのだろうかと考えさせられます。
「無理せず、できることから、できる範囲で。」私も鳥取県民の一人として学び、地域貢献できるような令和8年にしたいと思います!!